

川崎市議会議員

本間 賢次郎

市政レポート No. 10 (平成 30 年 10 月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

ごあいさつ



9月6日に発生した北海道胆振東部地震の犠牲になられました皆様のご冥福をお祈りし、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げますとともに、私達も微力ですが、被災地に寄り添い、お力になれるよう努めて参ります。

去る9月23日にJR川崎駅中央東口にて、「平成30年北海道胆振東部地震被災地救援募金活動」を自民党川崎区連合支部と自民党神奈川県第十選挙区支部（支部長：田中和徳 衆院議員）の合同によって実施致しました。ご通行の皆様のご理解とご協力の下、50,898円の義援金をお預かり致しました。皆様からお預かり致しました貴重なご浄財は自由民主党が責任を持って被災地へとお届けし、有効に活用されるよう取り組んで参ります。皆様の温かなご支援に重ねて感謝申し上げます。

平成30年第3回定例会

去る9月3日より川崎市議会平成30年第3回定例会が開会致しました。この定例会は決算議会とも呼ばれ、平成29年度の決算について審議を行うため、決算審査特別委員会が設置されます。そして、各項目ごとに充実した議論を行う分科会を設けました。**本間 賢次郎**は文教分科会に所属し、今号では市民文化局との質問内容についてご報告致します。

明るく安心安全、環境にやさしい街づくりへ！

市内の防犯灯は、町内会や自治会等が維持管理を行い、市が設置や電気料等に対して補助を行ってきました。そうした中で、環境負荷や維持管理等の負担軽減を図り、町内会や自治会等が維持管理する防犯灯を市に移管し、一括してLED化を行う「防犯灯LED化ESCO（エスコ）事業※」を

昨年度から導入。これにより防犯灯の新設についても町内会・自治会等からの要望に基づいて市が LED 防犯灯を設置することとなりました。市への移管後の町内会・自治会等の電気料金負担額は 0 円となっています。

※ESCO（エスコ）事業とは、「Energy Service COmpany（エナジー・サービス・カンパニー）」の略称で、市と契約した ESCO 事業者が従来型防犯灯を一斉に LED 化工事を行い、その後の 10 年間の維持管理業務を行うものです。市は電気料が下がった分の一部を ESCO 事業の費用として 10 年間分割して ESCO 事業者を支払います。

この取り組みにより、約 5 万灯の防犯灯を道路の状況等に応じて LED 化し、場所によっては夜間の通行の安全を確保するために当初の計画よりもワット数の大きい防犯灯を増やす等の対応をしていますが、電気料、CO2 排出量は以下のように削減されました。（以下の数値は速報値）

電気料削減額（年額）※電気料金の上下等を調整後の数値

	導入前	導入後	削減額	削減率
電気料	283,798 千円	159,467 千円	124,331 千円	43.8%

CO2 排出量削減量（年間）※事業開始前に LED 化したものは含めない

	導入前	導入後	削減量	削減率
排出量	5,383t	1,881t	3,502t	65.1%

故障等には 24 時間対応のコールセンターを設置し、対応しています。柱にある管理登録番号、住所や電柱番号を基に場所を特定し、原則 3 営業日以内に修繕を実施するようにしています。

当事業の開始後に LED 防犯灯の新設を求める申請が相次ぎ、昨年度の新設実績は 507 灯の申請に対し、271 灯の設置に止まりました。これを受け、**本間 賢次郎**は迅速な設置に向け、今後の予算確保等について提言致しました。また、町内会や自治会等以外の管理下にある防犯灯（市営住宅地内や公開空地内等）については、引き続き補助金制度を設け LED 化への地域の負担軽減を進め、「明るく安心安全、環境にやさしい街づくり」に向けて取り組みを続けて参ります。